（ご参考）

2021年度のカンパニー・報告セグメント体制

当社は、2021年度のカンパニー・報告セグメント体制を下記のとおりとしております。
なお、下記体制は2021年10月1日に変更する予定です。

（2021年4月1日現在）

報告セグメント	カンパニー		
アプライアンス（AP）	■ アプライアンス社 • 空調冷熱ソリューションズ事業部 • キッチン空間事業部 • ランドリー・クリーナー事業部 • ビューティ・パーソナルケア事業部 • スマートライフネットワーク事業部 • コールドチェーン事業部 • スマートエネルギーシステム事業部	■ US社 • ハスマン㈱	■ 中国・北東アジア社 • スマートライフ家電事業部 • 住建空間事業部※ • コールドチェーン（中国）事業部 • 冷熱空調デバイス事業部 • 台湾事業部※
ライフソリューションズ（LS）	■ ライフソリューションズ社 • ライティング事業部 • エナジーシステム事業部 • パナソニック エコシステムズ㈱ • パナソニック サイクルテック㈱		■ 中国・北東アジア社 • 住建空間事業部※ • 台湾事業部※
コネクティッドソリューションズ（CNS）	■ コネクティッドソリューションズ社 • パナソニック アビオニクス㈱ • プロセスオートメーション事業部 • メディアエンターテインメント事業部 • モバイルソリューションズ事業部 • パナソニック システムソリューションズジャパン㈱		
オートモーティブ（AM）	■ オートモーティブ社 • インフォテインメントシステムズ事業部 • HMIシステムズ事業部 • 車載システムズ事業部 • フィコサ・インターナショナル㈱	■ US社 • テスラエナジー事業部	
インダストリアルソリューションズ（IS）	■ インダストリアルソリューションズ社 • メカトロニクス事業部 • 産業デバイス事業部 • エナジーソリューション事業部 • デバイスソリューション事業部 • エナジーデバイス事業部 • 電子材料事業部		

※住建空間事業部、台湾事業部は、APセグメントとLSセグメントに一部ずつ所属します。
（注）LSセグメントには、上記以外にハウジングシステム事業部が含まれております。

株主メモ

証券コード	6752
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
公告方法	電子公告 https://www.panasonic.com/jp/corporate/ir/stockholder/denshikoukoku.html ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
単元株式数	100株
上場取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 〈郵便物送付先〉 〈電話照会先〉 〈インターネットホームページURL〉	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 フリーダイヤル　**0120-782-031** https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書
＊配当金に関する支払調書
＊単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行　証券代行部
フリーダイヤル　0120-782-031

2020.APR-2021.MAR

トピックス

Topics

アプライアンス社

ルームエアコン「エオリア」と加湿空気清浄機のIoT連携でより清潔な空気を実現

当社は、空質商品として初めてIoT連携を可能にしたルームエアコン「エオリア」と加湿空気清浄機の販売を2020年11月より開始しました。

エアコンと加湿空気清浄機のIoT連携により、「うるおい暖房」を実現しました。エアコンの「エオリア アプリ」から「うるおい暖房」を選択すると、暖房時に対応の加湿空気清浄機が連動して加湿運転を開始。エアコンのリモコンで「暖房」を作動させた場合にも、自動で加湿空気清浄機が運転し、エアコン暖房時の乾燥対策につながります。

また、2台を同じ室内で使うことで、高濃度の「ナノイー X」がエアコンと加湿空気清浄機の双方から発生し、商品単独で使用するときよりも花粉やニオイをすばやく抑制します。

空気への関心が高まる中、心地よい温度と湿度、そしてきれいな空気をお客様に提供し、「健康で快適な空気」との暮らしをサポートしてまいります。

IoT連携イメージ

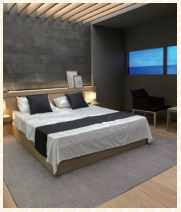
ライフソリューションズ社

「調湿ユニット」を新開発しIAQ(室内空気質)事業をグローバルに拡大

パナソニック エコシステムズ㈱は、IAQ(室内空気質)事業の拡大に取り組み、新たに「調湿ユニット」を開発しました。

独自の「遠心破砕加湿技術」により、加湿量を細かく制御できる新開発の「調湿ユニット」と、従来の熱交換気および空調を一括制御する新たな空質システムの販売を、中国住宅市場向けに2021年4月より開始しました。今後、次亜塩素酸生成ユニットを組み込むなど機能を拡充させ、住宅・非住宅市場向けに日本を含むグローバル市場での展開を目指してまいります。

また、空質4要素(温度・湿度・清浄度・気流)と感性3要素(除菌・脱臭・香り)を、さまざまな空間に合わせて自在にコントロールできる最新のIAQ技術をパッケージ化し、愛知県春日井市の本社敷地内に小型クローズ空間「Reboot Space II」を新設。ホテルや住宅などを想定した寝室空間と、トレーニングルームの2つの小型クローズ空間でのソリューション提案を行っています。



Reboot Space II

コネクティッドソリューションズ社

「統合溶接管理システム iWNB」でロボット情報を見える化し溶接現場の課題解決に貢献

パナソニック スマートファクトリーソリューションズ㈱は、溶接ロボットの情報を収集・蓄積・分析することで「生産性向上」「品質向上」「トレーサビリティ強化」を実現するソリューション「統合溶接管理システム iWNB(integrated Welding Network Box)：アイ・ダブリュー・エヌ・ビー」の販売を2020年8月より開始しました。

他の機器と接続せず、単独で動作することが通常であった溶接ロボットに、リンクウィズ㈱との協業成果である検査ソリューションも加えて、プロセス全体のデータ化・見える化により、製造業のお客様の抱える「プロの技をどう伝承するか」「3K(勘・経験・根性)作業からいかに開放し、生産の効率化を実現するか」などの経営課題の解決を目指してまいります。

パナソニックグループでは、企業向け事業において、「現場プロセスイノベーション」をビジョンに掲げソリューション事業を展開しており、今後もさまざまな現場の課題解決に貢献してまいります。

リモート監視

溶接現場

オートモーティブ社

ドライバーの安全運転支援に貢献するHUDの採用が拡大

近年、運転中のドライバーの前方視界に、車速やナビゲーションなどさまざまな運転支援情報を表示するシステム「HUD(ヘッドアップディスプレイ)」の普及がグローバルで拡大しています。

当社では、デジタルカメラや液晶ディスプレイの独自技術を応用し、小型かつ低歪で明るく鮮明な表示を実現した新製品を開発しました。

このたび、日産自動車㈱の新型「Rogue」にWS(ウィンドシールド)大画面HUDが、スズキ㈱の新型「ソリオ」「ソリオバンディット」に小型コンバイナHUD※1が採用され、グローバルに納入が拡大しています。

今後、さらなる普及が期待されるHUDの領域において、コンバイナタイプHUDからAR-HUD※2まで、快適で安全なドライブに役立つ商品を開発してまいります。HUDのリーディングカンパニーを目指し、安全・安心で快適なドライビング環境に貢献してまいります。

HUD外観

フロントガラスに投影されるHUDのイメージ
(画像提供：日産自動車㈱)

※1.コンバイナHUD：半透明の小型パネル(コンバイナ)に情報を表示する方式のHUD
2.AR-HUD：運転席前方の現実空間に奥行き感のある大画面映像を重ねて表示する方式のHUD

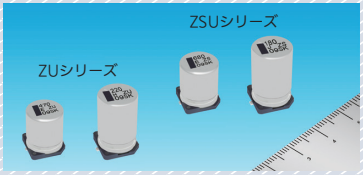
インダストリアルソリューションズ社

車載向け導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサーを量産開始

自動車の電動化や自動運転技術の進化に欠かせない車載電子制御ユニット(ECU※)は、高機能・高性能化が進むとともに自動車１台当たりの搭載数も増加傾向にあります。また、安全性・信頼性の向上を図るにあたり、同一ECU内にバックアップ用の電子回路を形成するために、ECUの小型化ニーズが高まってきております。これらの背景から、ECUに実装されるコンデンサーには大電流・大容量化による使用数削減や小形化が求められています。

当社が2020年12月に量産を開始した導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサー2品種(ZUシリーズ、ZSUシリーズ)は、独自の導電性高分子の形成技術と低抵抗リード線の新規採用により、従来比1.4倍以上の大電流・大容量化を実現し、コンデンサーの使用数削減や、同一定格品でのサイズの小形化が可能となりました。

当社は、これからもコンデンサーのさらなる技術進化を推し進め、自動車の電動化、自動運転技術の進展に貢献してまいります。



車載用 導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサー ZUシリーズ・ZSUシリーズ

※ECU：Electronic Control Unit

〈MEMO〉

〈MEMO〉

UD Universal Design Font

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022337

VEGETABLE OIL INK